

ブロッコリー (アブラナ科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	は種 ×—×			定植 ○—○						収穫			【7月どり】								
	【8月どり】			は種 ×—×			定植 ○—○						収穫								
	【9月どり】			は種 ×—×			定植 ○—○						収穫								
	【10月どり】			は種 ×—×			定植 ○—○									収穫					

1 栽培管理

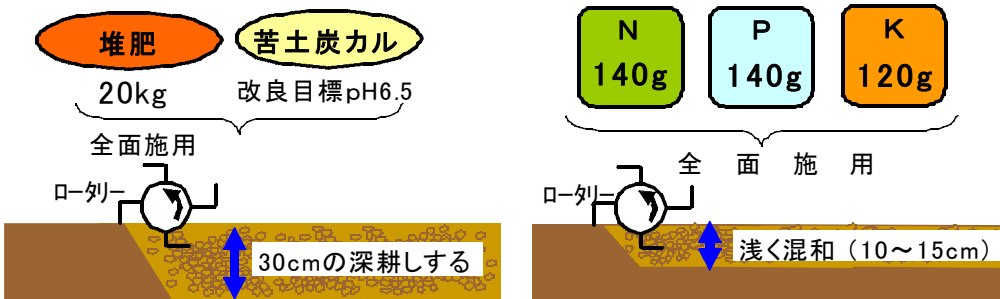
①畑の準備

- ・畑には完熟堆肥と、pH6.5を目標に苦土炭カルを施用します。
- ・アブラナ科の野菜なので連作を避け、根こぶ病発生の恐れのある畑には作付けしないようにしましょう。

表1 主な品種

品種名	早晩生	花蕾の				小花の 揃い	花茎の 空洞
		重さ	色	形状	凸凹		
ピクセル	早生	◎	濃緑	やや丸	中	やや良	○
まり緑	早生	◎	緑	丸	やや少	やや不良	○
サリナスアーリー	中早生	○	緑	やや丸	やや少	やや良	□
ハイツ	中早生	□	淡緑	やや丸	やや少	やや良	□
緑嶺	中生	□	緑	やや丸	中	やや不良	○
グリーンパソル	中生	◎	淡緑	やや丸	中	やや良	△

※◎:重い ○やや重い、やや少ない □:標準 △:やや多い



畑の準備(10㎡当たり)

②育苗

- 主な育苗方法は、セル成型育苗・ペーパーポット育苗・ポリ鉢育苗があります。

ア セル成型育苗

- ・苗の生産は、セルポットサイズが大きく、また、育苗日数が長いほど大きくなりますが、作業性(省力化)を考慮すると、200~400穴のセル成型ポットで育苗期間は25日程度とします。
- ・サイズの小さいポットの利用は、定植時に土壤乾燥が厳しい場合、かん水などの対策を行います。
- ・用土は、専用の育苗培土(プラグミックス等)を使用します。
- ・根鉢形成のため、ベンチ育苗方式(エアープルーニング)で育苗します。



ブロッコリーは当地域に非常に適した野菜で、中標津町では30ha以上の作付けがあり(平成20年)、冷涼な気候と豊富な有機物を利用した、高品質で安全・安心なブロッコリー栽培に取り組んでいる。

イ ペーパーポット育苗

- ・10㎡当たり0.4リットル程度の種子を準備し、1穴に2～3粒まき、覆土は5～8mm程度とします。
- ・は種前に、ポット内の土を十分鎮圧します。
- ・出芽揃いから本葉2葉までに、間引いて1本立ちにします。
- ・育苗日数は35日前後です。

ウ ポリ鉢育苗

- ・は種床に、まき幅6cm・株間1.5cm・深さ1cm程度にスジにまきます。
- ・移植適期は、本葉2.5枚、は種後20日目ころです。したがって、移植予定の3日前には、ポリ鉢に土を8分目程度詰めておきます。
- ・ポリ鉢移植後の育苗日数は15～20日です。



定植直前の苗

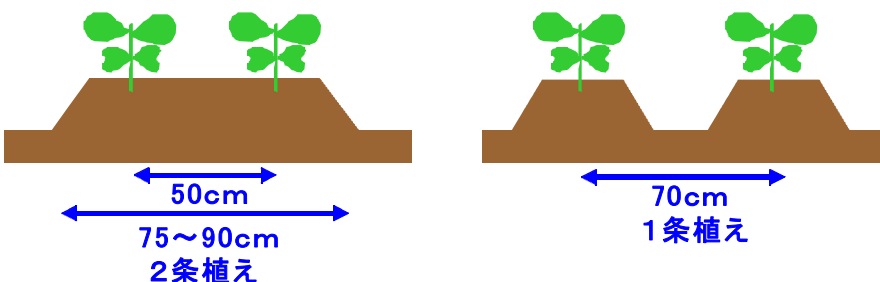
ブロッコリーの育苗温度(℃)

		は種～出芽揃い	～本葉3葉期	～定植1週間前	～定植
気温	昼	18～22	17～23	17～23	15～20
	夜	18～22	15～17	13～15	10～12

②定植

方法は2条植えと1条植えがあります。

株間は両方とも35～40cm



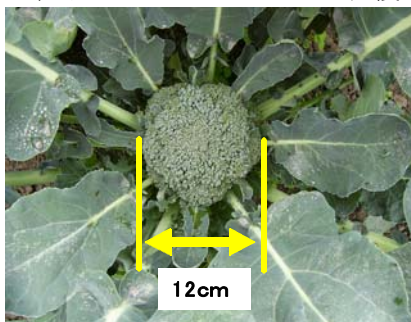
定植後の様子

③管理

- ・生育不良の場合に窒素、カリを追肥します。
- ・病虫害防除は、生育期間を通じて、アオムシ、コナガが発生するので定期的な防除が必要です。また8月の高温期には花蕾が腐る花蕾腐敗病が発生します。

2 収穫の目安

花蕾の直径が12cmになったら収穫します。



収穫期のブロッコリー



防虫ネットの利用
(アオムシやコナガなどの侵入を防ぎます)